



金花七變化

第三至三編

13  
1182  
7



墨花七多花

大志  
海海  
全

小  
五〇二  
冊八合  
7

特  
へ遠13  
1182  
7

特  
へ13  
1182  
7

鶴亭秀賀著

變



華



上

新寅 史春  
堂金 松板



金<sup>きん</sup>華<sup>を</sup>七<sup>ち</sup>變<sup>へん</sup>化<sup>げ</sup>第<sup>だい</sup>二<sup>に</sup>拾<sup>じゅう</sup>壹<sup>いち</sup>冊<sup>ふみ</sup>編<sup>へん</sup>上<sup>じやう</sup>冊<sup>のまは</sup>

秀賀作  
國貞画



金杏  
堂梓

壹

金華七變化第二拾壹輯  
前文之續

東正廣娘菊女を伊村へ送る  
幸大夫怒て於菊幸之丞

附 手討よせんとする  
大守伊村は雨宿り

雨人を助けぬ

以此緯換緒言塞巻端云爾

東武

鶴高藤村秀賀題

賞

二五七十一

金華七

厚ん化

世有壹編

下の巻

妻高橋

楳塔橋



辻文  
梓



○伊の村  
幸村  
太夫  
光定

○東の正廣の妻女  
浪崎  
○伊の村の光定  
次女  
於菊



○東嘉  
兵衛  
正廣

○伊の村の光定  
伊の村の幸村  
之の  
忠光



二下下下下

三





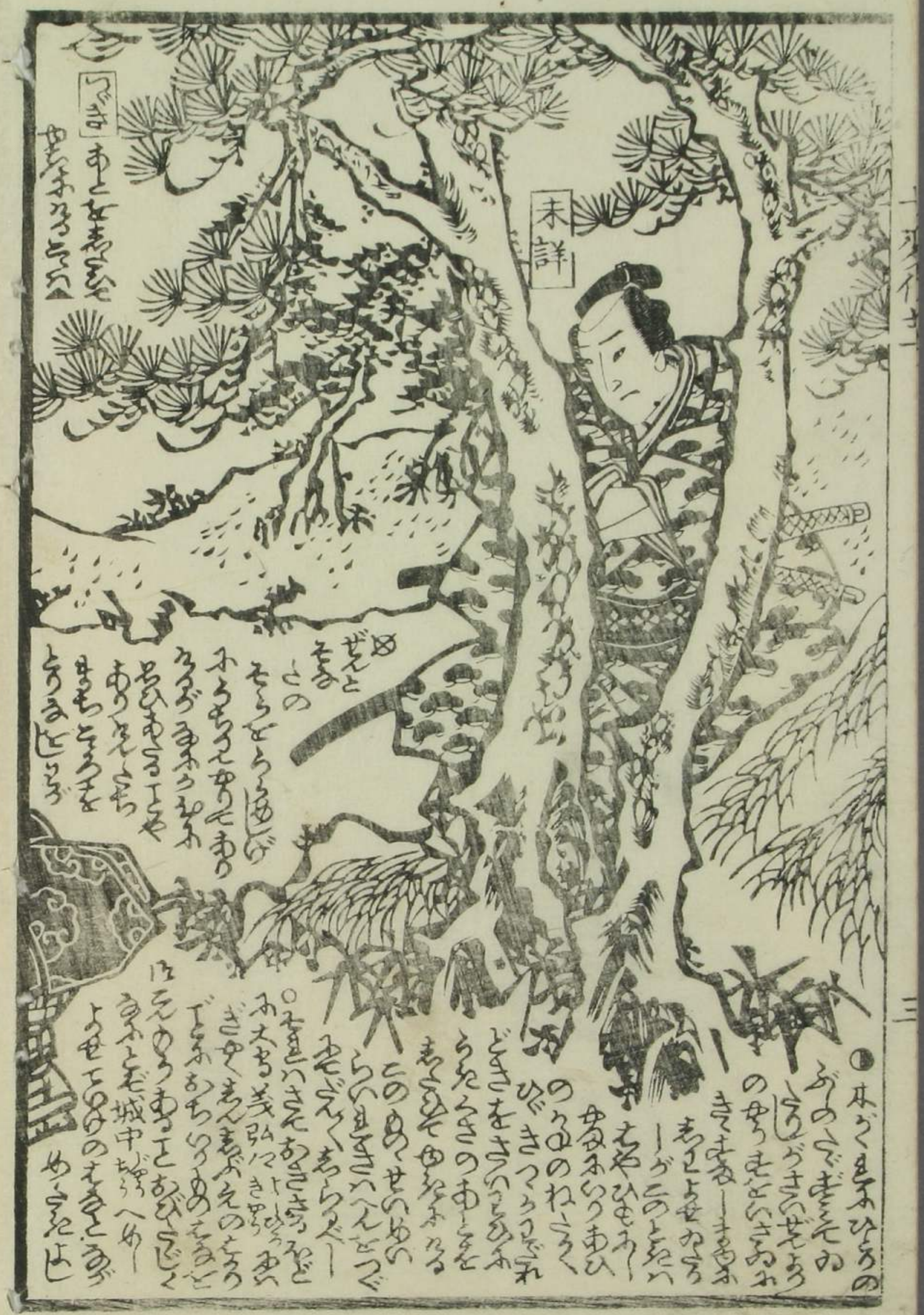
ひのきとて  
のうのうのう  
そのゆゑに  
あつたは  
あつたは

のうのう  
あつたは  
あつたは  
あつたは

やとて  
あつたは  
あつたは

あつたは  
あつたは  
あつたは  
あつたは  
あつたは  
あつたは

あつたは  
あつたは  
あつたは  
あつたは  
あつたは  
あつたは



あつたは  
あつたは

未詳

あつたは  
あつたは  
あつたは  
あつたは

あつたは  
あつたは  
あつたは  
あつたは

あつたは  
あつたは  
あつたは  
あつたは  
あつたは  
あつたは



















正  
 此の世に於ては  
 女は男に劣るべし  
 男は女に劣るべし  
 此の世に於ては  
 女は男に劣るべし  
 男は女に劣るべし

此の世に於ては  
 女は男に劣るべし  
 男は女に劣るべし  
 此の世に於ては  
 女は男に劣るべし  
 男は女に劣るべし

此の世に於ては  
 女は男に劣るべし  
 男は女に劣るべし  
 此の世に於ては  
 女は男に劣るべし  
 男は女に劣るべし



此の世に於ては  
 女は男に劣るべし  
 男は女に劣るべし  
 此の世に於ては  
 女は男に劣るべし  
 男は女に劣るべし

此の世に於ては  
 女は男に劣るべし  
 男は女に劣るべし  
 此の世に於ては  
 女は男に劣るべし  
 男は女に劣るべし  
 此の世に於ては  
 女は男に劣るべし  
 男は女に劣るべし



七変化

七変化

三



九代目幸太夫の  
 上座の御座り  
 幸太夫の御座り  
 幸太夫の御座り  
 幸太夫の御座り

幸太夫の御座り  
 幸太夫の御座り  
 幸太夫の御座り  
 幸太夫の御座り  
 幸太夫の御座り

幸太夫の御座り  
 幸太夫の御座り  
 幸太夫の御座り  
 幸太夫の御座り  
 幸太夫の御座り



幸太夫の御座り  
 幸太夫の御座り  
 幸太夫の御座り  
 幸太夫の御座り  
 幸太夫の御座り

幸太夫の御座り  
 幸太夫の御座り  
 幸太夫の御座り  
 幸太夫の御座り  
 幸太夫の御座り









大

大



大

大





17  
 18  
 19  
 20  
 21  
 22  
 23  
 24  
 25  
 26  
 27  
 28  
 29  
 30  
 31  
 32  
 33  
 34  
 35  
 36  
 37  
 38  
 39  
 40  
 41  
 42  
 43  
 44  
 45  
 46  
 47  
 48  
 49  
 50  
 51  
 52  
 53  
 54  
 55  
 56  
 57  
 58  
 59  
 60  
 61  
 62  
 63  
 64  
 65  
 66  
 67  
 68  
 69  
 70  
 71  
 72  
 73  
 74  
 75  
 76  
 77  
 78  
 79  
 80  
 81  
 82  
 83  
 84  
 85  
 86  
 87  
 88  
 89  
 90  
 91  
 92  
 93  
 94  
 95  
 96  
 97  
 98  
 99  
 100



101  
 102  
 103  
 104  
 105  
 106  
 107  
 108  
 109  
 110  
 111  
 112  
 113  
 114  
 115  
 116  
 117  
 118  
 119  
 120  
 121  
 122  
 123  
 124  
 125  
 126  
 127  
 128  
 129  
 130  
 131  
 132  
 133  
 134  
 135  
 136  
 137  
 138  
 139  
 140  
 141  
 142  
 143  
 144  
 145  
 146  
 147  
 148  
 149  
 150  
 151  
 152  
 153  
 154  
 155  
 156  
 157  
 158  
 159  
 160  
 161  
 162  
 163  
 164  
 165  
 166  
 167  
 168  
 169  
 170  
 171  
 172  
 173  
 174  
 175  
 176  
 177  
 178  
 179  
 180  
 181  
 182  
 183  
 184  
 185  
 186  
 187  
 188  
 189  
 190  
 191  
 192  
 193  
 194  
 195  
 196  
 197  
 198  
 199  
 200

1  
 2  
 3  
 4  
 5  
 6  
 7  
 8  
 9  
 10  
 11  
 12  
 13  
 14  
 15  
 16  
 17  
 18  
 19  
 20  
 21  
 22  
 23  
 24  
 25  
 26  
 27  
 28  
 29  
 30  
 31  
 32  
 33  
 34  
 35  
 36  
 37  
 38  
 39  
 40  
 41  
 42  
 43  
 44  
 45  
 46  
 47  
 48  
 49  
 50  
 51  
 52  
 53  
 54  
 55  
 56  
 57  
 58  
 59  
 60  
 61  
 62  
 63  
 64  
 65  
 66  
 67  
 68  
 69  
 70  
 71  
 72  
 73  
 74  
 75  
 76  
 77  
 78  
 79  
 80  
 81  
 82  
 83  
 84  
 85  
 86  
 87  
 88  
 89  
 90  
 91  
 92  
 93  
 94  
 95  
 96  
 97  
 98  
 99  
 100



101  
 102  
 103  
 104  
 105  
 106  
 107  
 108  
 109  
 110  
 111  
 112  
 113  
 114  
 115  
 116  
 117  
 118  
 119  
 120  
 121  
 122  
 123  
 124  
 125  
 126  
 127  
 128  
 129  
 130  
 131  
 132  
 133  
 134  
 135  
 136  
 137  
 138  
 139  
 140  
 141  
 142  
 143  
 144  
 145  
 146  
 147  
 148  
 149  
 150  
 151  
 152  
 153  
 154  
 155  
 156  
 157  
 158  
 159  
 160  
 161  
 162  
 163  
 164  
 165  
 166  
 167  
 168  
 169  
 170  
 171  
 172  
 173  
 174  
 175  
 176  
 177  
 178  
 179  
 180  
 181  
 182  
 183  
 184  
 185  
 186  
 187  
 188  
 189  
 190  
 191  
 192  
 193  
 194  
 195  
 196  
 197  
 198  
 199  
 200



慶應三年丁卯初春開版目錄

淺草川十社縁起  
初編 貞雅作  
二編 菅實秋  
三編 貞正  
四編 貞正  
五編 貞正

修考伝 國貞画  
氣を毒せ小兒五疳諸疾ふし  
調合所 上徳園 大野傳兵衛  
東金町

神 仙 一角丸

文 地本 問屋 金松堂

周防染櫻模様  
四編 貞雅作  
五編 國貞画

梅春霞段引始  
三編 貞實文作  
讀切 國貞画

濡衣女鳴神  
十編 秀賀作  
讀切 國貞画

假枕巽八景  
二編 貞實文作  
讀切 國貞画

道外江戸名所  
大編 貞實文作  
讀切 國貞画

横山町三丁目 辻岡屋文助梓









金華七變化第貳拾貳編換序  
 何じの大納言の物志結ひ一日記のらちゆ毛年る猫の怪紙  
 るせし由誌されし然バ迎人も知る嵯峨の奥彼金華猫  
 の物語を御伽草紙とまりしゆしぬ糸んねと猫の評判ゆ先ハ  
 ちよと六筆鳴縁起ゆはしと雀躍ほつ猶も此編等々肝心要  
 と休息は似る勘考ゆ更ハ埒ま不明の間雨夜は暗き搜り  
 書漸稿脱る其折し金松堂より的小僧未だ校合さるも  
 鹿漏小先一編を渉して其催促を塞ぎぬ

春霞樓北窓の下

鶴亭秀賀戲述















日影をまわらさずびして  
 一教馬のうしろにそとのあざ  
 ひさのながのあざさうみおど  
 うくけいねあはれあをれあぞく

ねとらつあさうさあさあさ  
 みまのあざさうああああ  
 ちう一そあささささささ  
 ゆんちんあさささささささ

さうあさうさあさあさあさ  
 文のあさあさあさあさ  
 ああああああああああ  
 ああああああああああ  
 ああああああああああ



つきあるみぞ  
 さあさの正あさ  
 大のあさあさあさ  
 らあさあさあさあさ  
 みまのあさあさあさ  
 あさあさあさあさあさ  
 せあさあさあさあさ  
 あさあさあさあさあさ  
 あさあさあさあさあさ  
 あさあさあさあさあさ  
 あさあさあさあさあさ

四史  
 四國史畧  
 四日

正

ああああああああああ  
 ああああああああああ  
 ああああああああああ  
 ああああああああああ  
 ああああああああああ





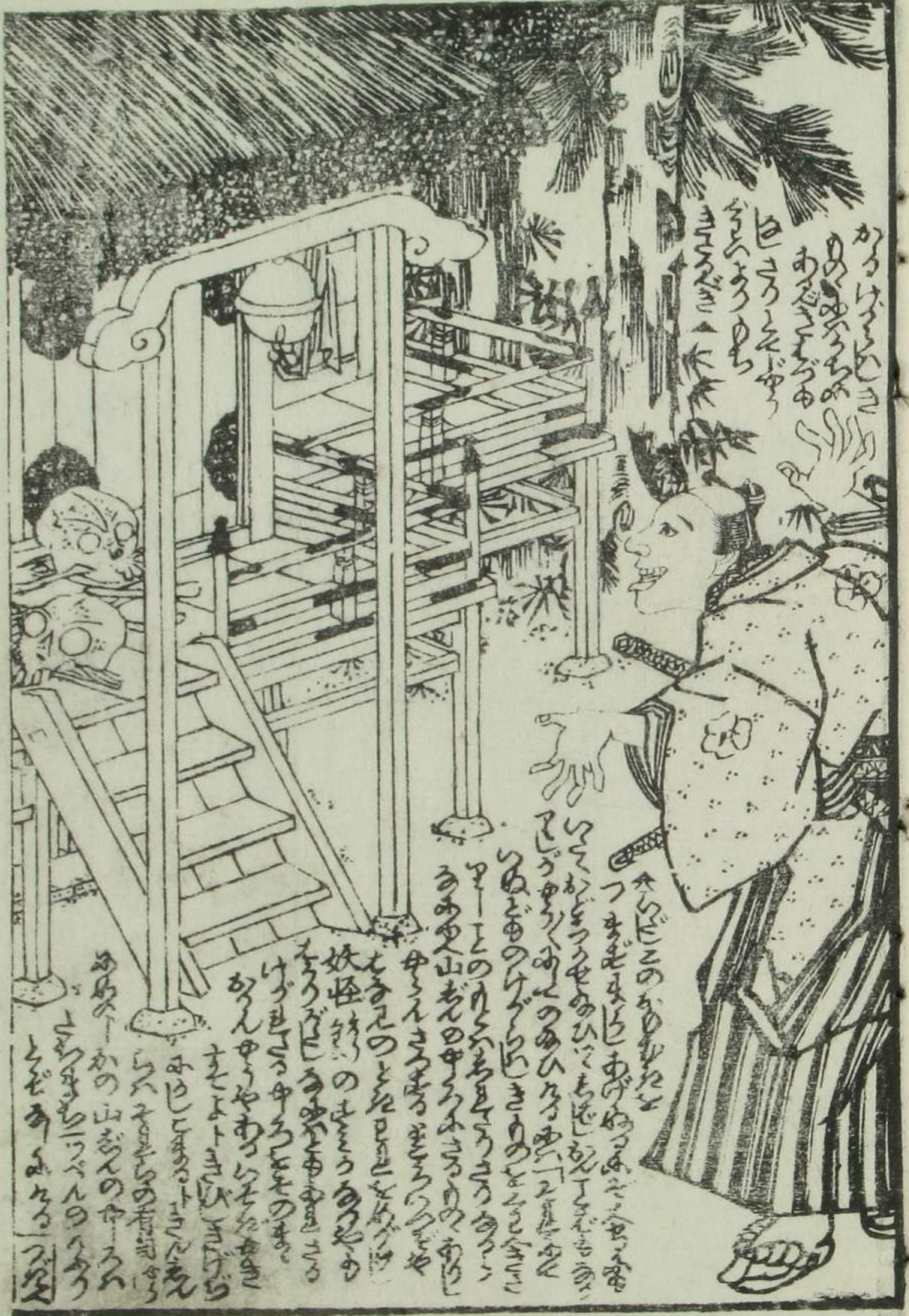












かたけしき  
あはれ  
はな  
うら

あはれこのかたけしき  
つまはらまらあひめ  
いそがしうせあひめ  
あはれこのかたけしき  
つまはらまらあひめ  
いそがしうせあひめ

あはれこのかたけしき  
つまはらまらあひめ  
いそがしうせあひめ  
あはれこのかたけしき  
つまはらまらあひめ  
いそがしうせあひめ



あはれこのかたけしき  
つまはらまらあひめ  
いそがしうせあひめ  
あはれこのかたけしき  
つまはらまらあひめ  
いそがしうせあひめ

あはれこのかたけしき  
つまはらまらあひめ  
いそがしうせあひめ  
あはれこのかたけしき  
つまはらまらあひめ  
いそがしうせあひめ

















△子息にこそあり  
おあたまうんと  
ふかふか  
みくわりの  
を  
みくわりの  
を  
みくわりの  
を

△子息にこそあり  
おあたまうんと  
ふかふか  
みくわりの  
を  
みくわりの  
を  
みくわりの  
を

△子息にこそあり  
おあたまうんと  
ふかふか  
みくわりの  
を  
みくわりの  
を  
みくわりの  
を

△子息にこそあり  
おあたまうんと  
ふかふか  
みくわりの  
を  
みくわりの  
を  
みくわりの  
を

△子息にこそあり  
おあたまうんと  
ふかふか  
みくわりの  
を  
みくわりの  
を  
みくわりの  
を

△子息にこそあり  
おあたまうんと  
ふかふか  
みくわりの  
を  
みくわりの  
を  
みくわりの  
を

△子息にこそあり  
おあたまうんと  
ふかふか  
みくわりの  
を  
みくわりの  
を  
みくわりの  
を

△子息にこそあり  
おあたまうんと  
ふかふか  
みくわりの  
を  
みくわりの  
を  
みくわりの  
を



△子息にこそあり  
おあたまうんと  
ふかふか  
みくわりの  
を  
みくわりの  
を  
みくわりの  
を

△子息にこそあり  
おあたまうんと  
ふかふか  
みくわりの  
を  
みくわりの  
を  
みくわりの  
を

△子息にこそあり  
おあたまうんと  
ふかふか  
みくわりの  
を  
みくわりの  
を  
みくわりの  
を



慶應三年丁卯初春開版目錄

淺草川十社縁起

吉戸川の廻り... 浅草川十社縁起... 慶應三年丁卯初春開版

神 仙 一角九

文 問屋 金松堂

周防深瀬模様

梅春霞段引始

濡衣女鳥神

假枕巽八景

道外三三名所

近岡屋文助





七

變

化

金

華

金松堂

文庫

上





卯春  
貞画

蝶樓

秀賀作

鶴亭

笏  
拾

下



七  
變  
化

金

金松堂  
文庫

上



第八拾

鶴亭 秀賀作

模蝶樓

卯春 貞画

癸元

下



金華七變化  
第八拾三輯  
上之巻

鶴亭秀賀作  
模蝶樓 貞画

丁卯初春新刻

金松堂書梓



東海の姫  
氏国と称は然者云

孫子吳王の為に女兵を訓練て天敵を幸と抑  
我朝の陽国ありて  
異僧あり

往古より女丈夫あり  
巴女板額無限  
ら毛摘億兆を  
以て

三重婦の又  
小木林の妹  
家内大

七十七



山手

七変化

乃廿三

下の空

あり笑をく  
ふふと画

このよの  
卯多新

辻文

奇縁







幸太夫の申すに  
おのれはあまの  
せしむるに  
まのまに  
正の一人  
つらあし  
かうき  
正の  
あまの  
わを  
らう  
らう  
と  
と  
と

あまの  
らう  
まの  
の  
と  
と  
と

あまの  
らう  
まの  
の  
と  
と  
と



大  
大  
大

江湖の  
婦女子  
の  
道

鶴  
平  
賀  
記  
の

教  
導  
と

前  
の  
皇  
月  
が

武  
邊  
の  
嗜  
將  
怪  
力  
の  
奇

七  
五  
三







此の世に  
 何事も  
 成るは  
 縁起の  
 功なり  
 夫れを  
 信じて  
 行ふは  
 善なり  
 此の世  
 何事も  
 成るは  
 縁起の  
 功なり  
 夫れを  
 信じて  
 行ふは  
 善なり  
 此の世  
 何事も  
 成るは  
 縁起の  
 功なり  
 夫れを  
 信じて  
 行ふは  
 善なり



此の世に  
 何事も  
 成るは  
 縁起の  
 功なり  
 夫れを  
 信じて  
 行ふは  
 善なり  
 此の世  
 何事も  
 成るは  
 縁起の  
 功なり  
 夫れを  
 信じて  
 行ふは  
 善なり  
 此の世  
 何事も  
 成るは  
 縁起の  
 功なり  
 夫れを  
 信じて  
 行ふは  
 善なり

七変化世

五

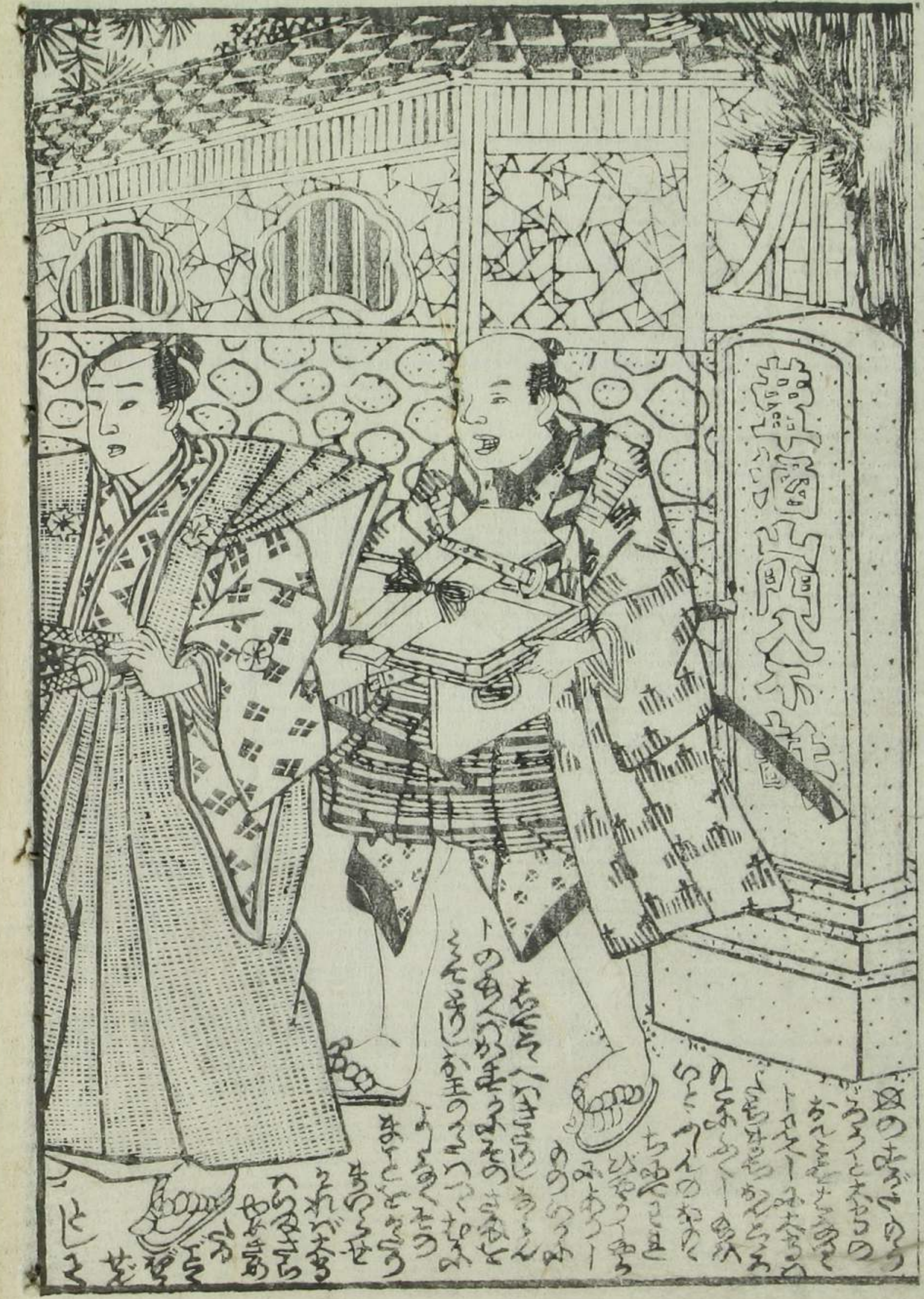


山崎の山



七ツイセ









夫久もせめて  
 るふらの昔井良見侍  
 をあつてあつて  
 あつて

夫久もせめて  
 るふらの昔井良見侍  
 をあつてあつて  
 あつて

夫久もせめて  
 るふらの昔井良見侍  
 をあつてあつて  
 あつて

夫久もせめて  
 るふらの昔井良見侍  
 をあつてあつて  
 あつて



夫久もせめて  
 るふらの昔井良見侍  
 をあつてあつて  
 あつて

夫久もせめて  
 るふらの昔井良見侍  
 をあつてあつて  
 あつて

夫久もせめて  
 るふらの昔井良見侍  
 をあつてあつて  
 あつて

夫久もせめて  
 るふらの昔井良見侍  
 をあつてあつて  
 あつて

夫久もせめて  
 るふらの昔井良見侍  
 をあつてあつて  
 あつて



△おんを  
さあつとあひく  
まふとあつた  
のつゝある男女  
のつゝあるもの  
とつゝあるもの  
たまふもの

上の英ふ  
毛鞠きう  
と馬  
△おんを  
さあつとあひく  
まふとあつた  
のつゝある男女  
のつゝあるもの  
とつゝあるもの  
たまふもの

△おんを  
さあつとあひく  
まふとあつた  
のつゝある男女  
のつゝあるもの  
とつゝあるもの  
たまふもの



# 秀賀作 國貞画

つぎあつたもの  
けしあつたもの  
とつゝあるもの  
たまふもの

△おんを  
さあつとあひく  
まふとあつた  
のつゝある男女  
のつゝあるもの  
とつゝあるもの  
たまふもの

△おんを  
さあつとあひく  
まふとあつた  
のつゝある男女  
のつゝあるもの  
とつゝあるもの  
たまふもの

へ巻の下





あはれに  
おぼしめし  
おぼしめし  
おぼしめし  
おぼしめし

あはれに  
おぼしめし  
おぼしめし  
おぼしめし  
おぼしめし



あはれに  
おぼしめし  
おぼしめし  
おぼしめし  
おぼしめし

あはれに  
おぼしめし  
おぼしめし  
おぼしめし  
おぼしめし



















夢應三年丁卯初春開版目錄

漢草功十社縁起  
宮戸... 漢草功十社縁起... 昔...

梅春霞段引始  
三編... 梅春霞段引始... 讀切...

神 仙  
 一角九  
朝倉 上徳田 東金町 大野傳兵衛

文  
地本 双紙 問屋 金松堂

周防漆欄換様  
四編... 周防漆欄換様... 五編...

濡衣女鳴神  
十編... 濡衣女鳴神... 讀切...

假枕巽八景  
二編... 假枕巽八景... 讀切...

横山町三丁目  
 辻岡屋文助軒







三山石印